

あの日を忘れない

市防災訓練を実施

市では、平成23年3月11日の東日本大震災から今年で丸2年を迎えることから、3月10日、約400人が参加し防災訓練を実施しました。これまでは、「防災の日」前の8月に実施していましたが、東日本大震災の教訓を忘れないために、3月10日に日程を変更し、開催しました。

訓練では、茨城県南部を震源とする震度6強の直下型地震が発生したことを想定し、災害対策本部、現地災害対策本部、避難所、ボランティアセンターの開設訓練のほか、ボランティア団体、自衛隊による炊き出し訓練、警察、消防による要救助者救出訓練などが行われました。



1



3



2



6



5



4

①災害対策本部を設置し、陣頭指揮を執る片庭市長（右）
 ②積み土のう工、土のうづくり、土砂運搬を行う市職員
 水防隊③エアテント内で応急手当の講習を受ける女性消防団員④初期消火訓練を行う自主防災組織の皆さん⑤自衛隊炊き出しのカレーライスを配る婦人防火クラブ、日赤奉仕団、ボランティアの皆さん⑥炊き出しを行う自衛隊の皆さん⑦車内にとり残された要救助者を、特殊機材を使い救出するレスキュー隊の皆さん⑧がれき撤去を行う建設業協会つくば分会の皆さん



8



7